

会社案内



 **Daisen**



光と対話して、未来へ。

輝きあふれる明日の人間空間をもとめて



新しい時代、新しい躍動、そして次々と生まれる新しい夢。人類の輝かしい歴史は、常に新しい変革と挑戦とともに進んでいます。そして私たち大仙も、未来に向けて新しい決意で臨んでいます。1世紀以上にわたり、採光建築のパイオニアとして培ってきた大仙、しかしそんな実績や伝統だけでは、新しい時代を切り拓いていくことはできません。より良い人間空間の創造者として、もう一度原点にふり返り、常に新しい視点と発想から、人と環境の調和づくりを考えていきたいと思っています。明日をもっと輝かせるために、大仙のチャレンジは終わることはありません。

ごあいさつ



大仙は120年以上の歴史のなかで、いつの時代も光あふれる快適な空間の創造を追い続けてまいりました。

私たちの事業のドメインでありルーツでもある農業用温室分野では、大規模な集約施設による効率的な農業を追求する流れや、外国との競争に負けない、高付加価値な農産物の生産。また「植物工場」という言葉に代表される、新しい時代の農業への対応など、常に新しい時代の温室のありかたが追い求められています。今後とも「商品力・提案力」に優れた事業を展開し、大仙を支える主軸事業として大きく発展させていく所存です。

またそうした採光技術、高度な建材加工技術を生かしたエクステリア事業・額縁事業。さらにさまざま建築空間に、光と開放性を演出するトッライト事業などは、暮らしの中で人々にうるおいと喜びを広げるために積極的に取り組んでいきたいテーマです。

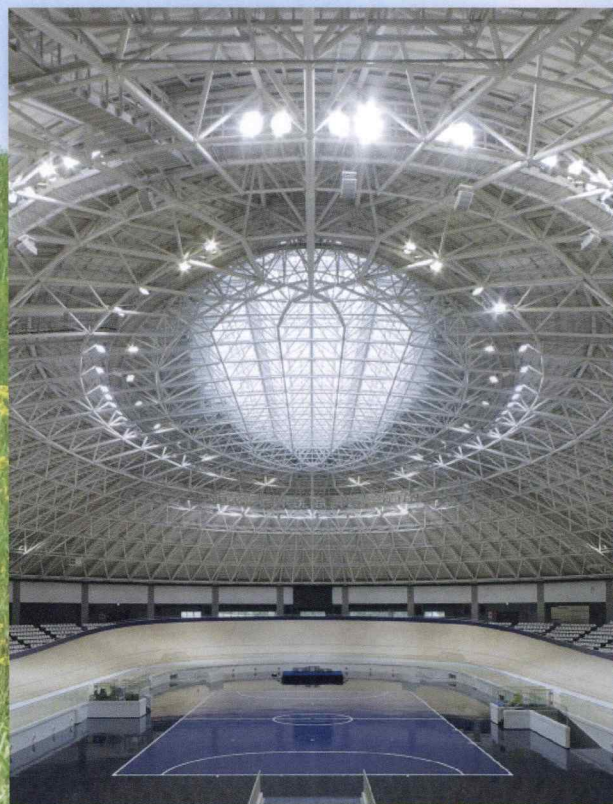
初代、2代目社長から受け継がれてきた「施主様の心を我が心とせよ」という言葉があります。歴史ある会社を継承する者として、この「大仙としての企業理念」を心に刻み、メーカーの本質である「お客様視点での商品提案」を追求し、人と環境に優しい、豊かな社会づくりに貢献していきたいと考えております。今後ますますのご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

取締役社長

鈴木 健嗣

DAISEN “Now & Next”

一步先の、快適さをめざして。



社会・経済が成熟化するにつれて、いま人々の価値観は刻々と変化してきています。遊ぶ、働く、憩う、暮らすなど、それぞれの時間や環境に「ゆとり」を求めるようになり、単に物質的な“モノの豊かさ”から精神的な満足感や充実感といった“ココロの豊かさ”が大切になってきています。こうした人々のゆとり指向は、建築の分野においても例外ではありません。

大仙がめざす空間づくりのコンセプトもそんな生活のひとつひとつのシーンに、新しい快適性を広げることにあります。温室建築で培った高度な採光技術をベースに、人と光、人と自然のより良い

調和を追求。さらに、多様化・高度化するニーズに応えるため、新技術の研究・開発とともに、設計・デザイン、空間企画などソフト部門も積極的に充実を図っています。常に時代に先駆けて、空間の新しい可能性に挑戦してきた大仙。今後はこれまで高い評価をいただいていた採光建築の成果を総合的な技術力として確立。従来の事業領域にとらわれず、ニーズをキャッチするだけの受動的展開から、自ら積極的にニーズを創出するアクティブな事業展開にチャレンジしています。そして一步先の快適さをめざして、大仙はこれからも力強く歩み続けます。

BUSINESS STAGE

例えば、陽光ふりそぐスポーツ施設。開放感あふれるショッピングセンター。美しく、気持ち良く働けるオフィス…。快適な環境づくりは、現代の商業・ビジネス空間にとって不可欠の要素です。大仙はこうした個性的・魅力的な人間空間を、採光技術の視点から見つめてまいります。

LIVING STAGE

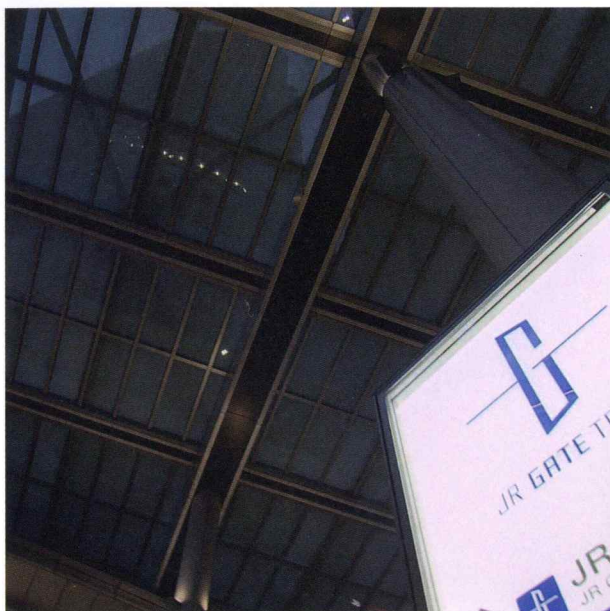
豊かな暮らしに対する人々の夢。そのひとつに自然の光と緑にまつまれた健康で快適な生活があります。大仙ではそんな住空間への新しいニーズに応える、様々なエクステリア演出に取り組んでいます。光をベースとしたゆとりの生活空間、さらに新しいライフスタイルの提案をしていきたいと考えています。

GREEN STAGE

日本の集約農業の歴史とともに歩んできた大仙温室。それは数々の新しい工夫と、独創的な発想によってもたらされたものです。今後、ますます進むと思われる農業の高級化・多様化をとらえ、大仙ではより効率的、より省エネルギー的、より柔軟な視点でのイノベーションに向けて、その手を休めません。

INTERIOR STAGE

心豊かな生活が求められている現代、自分のライフスタイルへのこだわりも、そんな風潮の現れでしょう。インテリア熱の高まりもそのひとつ。個性的な装飾の追求、絵画などの文化の香りに囲まれた生活、そんな新しい時代のインテリアライフを、大仙のオリジナルインテリアフレームが演出します。



新時代の空間演出。
建築に光の快適性をひろげる、



■ 植物園



■ 各種店舗



■ トップライト建築

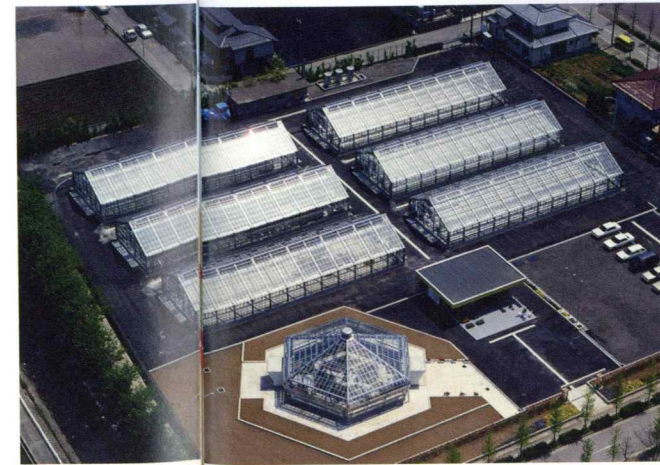
地球上で最も豊かでクリーンなエネルギー、太陽光。遠い昔からこの太陽エネルギーは、私たち人類の産業と社会の繁栄を支え続けてきました。

そしてその太陽エネルギーを「アメニティ」と「省エネルギー」という視点からとらえ、様々な空間づくりに取り入れてきたのが大仙のトップライト建築です。温室建築で培った高度な採光技術を生かし、建物の一部、さらにはその全体を大型のトップライト（光の屋根）で構成。建物の内部に光と広がり開放区をひろげる画期的なこのシステムは、近代建築に求められる快適な空間づくりとして、各方面から高い評価をいただいています。

こうしたトップライト建築は、年を追うごとに着実な伸びを見せてきており、その建築実績も北海道から九州まで、またその種類も植物園から店舗、スポーツ施設など幅広い受注をいただいています。もちろんその伸びに合わせるように、新しい構・工法の開発、新素材の研究、建物全体の採光方法の提案までを含んだ建築設計部門の充実などを図ってきています。さらに今後は、関連業者との強力なネットワークづくりをはかり、トータルコンストラクターとしての役割にも挑戦していくつもりです。

いま、社会環境、そして人々の価値観がめまぐるしく変化するにつれて、さまざまな空間にも新しい波が押しよせてきています。大仙ではいつの時代にも、こうしたニーズに柔軟に対応し、採光を核とした総合的な技術で「新時代の空間創造」に確かな足跡を残してまいります。





豊かな実りの歴史と共に歩む、
信頼と先進の施設園芸温室

DAISEN・TOPICS 1



施設園芸の先進国・オランダ
KUBO社とのジョイントにより
温室内の栽培環境を常に最
適に保ち続けることができる
新しい時代のバラ栽培温室
が誕生しました。

◀滋賀県守山市・クニエダ株式会社

人類の永い歴史の中で、いつの時
代にも豊かな実りは私たちの幸福な生
活と文明の繁栄の象徴でありました。

大仙の歴史は、こうした農業の近
代化の歴史とともに歩んできました。
明治34年、第一号の試作温室を完
成させて以来、100年にわたり施設
園芸のトップメーカーとして全国各地
に温室を建築。時代を先取りする設
計思想と、長年の経験と技術の蓄積
に基づいた卓越した技術水準と品
質は、施主の方々をはじめ各方面か
ら高い評価をいただけてきました。特に高級ガラス温室の分野で
は、抜群のシェアと信頼を獲得。全国各地に5,000坪クラスの大
温室団地の建築を手がけたり、また多数の農業試験場や学校へ
温室を供給してまいりました。



しかし農業の効率化、高付加価値化が急速に進む中で、温室に
もより一層の省エネルギー化、そして細かな生育条件の設定など、新
しいニーズが求められるようになってきています。そのため大仙では、
従来の数多くの温室建築で培ってきた高度な採光技術に加え、新
素材の研究や新しい工法の開発、設計面での改良など、先端分野
にまたがる総合的な技術の革新に常に取り組んでいます。

さらにこうした施設園芸温室のノウハウを活かした家庭用小型
温室の製造にも着手し、家庭に気兼ねな植物との触れ合いの空間を
提供しています。明日の豊かな実りへの挑戦から暮らしの中の潤い
演出まで、大仙はこれからも人と緑のより良い調和を追求していき
たいと考えています。



チャッピー



DAISEN・TOPICS 2

エクステリア・リフォーム需要に新しい提案。
 テラス囲いに断熱という付加価値をつけた新商品MULTi@ROOM(マルチ@ルーム)を発売開始。

MULTi@ROOM



フレッシュルーフ5テラス囲い

より明るく、健康的な毎日をおくり、のびのびとした気持ちの良い空間で暮らす。すべての人々が求めて止まないそんな快適な暮らしへの夢に、大仙は住まいに光の魅力を取り入れることよって応えています。

住まいにプラスαの広がりや自然の明るさをもたらす多目的スペース。現在の住まいに簡単に取り付けることができ、外観や内部のリフォームパターンも豊富に用意されているので、リビングやキッチン、ホビールーム、家事・収納室、子供部屋、寝室など自由な使い方ができます。

また“光と風と緑の空間づくり”をテーマとしているのが、エクステリア商品です。豊かなカーライフのための各種カーポート、人と光のふれあいの場、テラス、テラス囲い、家庭用温室。さらには住まいの美しい機能的スペース、自転車スペース、フェンスなど多種多様な商品バリエーションをお客様に提供しています。

これらの商品群には、いずれも大仙が温室建築などで培った、アルミやポリカーボネート加工の高い技術を応用。また格調高い優美なデザインは、住む方々の誇りと個性を映すものといえるでしょう。しかし今後、住まいをめぐる環境はますます多様化・高度化が予想されています。大仙ではこうした生活の変化、進歩を敏感にキャッチし、潤いにあふれたエクステリアを追求していきたいと考えています。そしてニーズに応えるだけでなく、自らニーズを創り出していく立場で、これからも新しい商品の開発に励んでいきます。



スカイテリア



アルミニネオ

暮らしに鮮やかな夢を描く、
 大仙の新しい住空間演出。



ゆき盛くんII・耐風くんII



SSポートGII



リアルポートIII

cazaro®

WALL INTERIOR

ウォールインテリアの新しいコンセプトブランド。



美しい名画を普通の暮らしの中で感じながら暮らす...自分で作った版画でリビングを演出する...生活にゆとり指向が高まるにつれて、そんな個性的なインテリアの楽しみ方が、これからますます脚光を浴びようとしています。

そしてそんなライフスタイルに欠かせないもののひとつが、インテリアフレーム(額縁)といえるでしょう。大仙ではこうしたインテリア熱の高まりに早くから注目。伝統あるアルミ加工の技術を活かしたさまざまなインテリアフレームを世に送り出してきました。楽しい思い出や感動の記録を飾る写真額から、趣味の世界を彩る油絵額、水彩画額、デッサン画額、書道額、そして卒業や表彰の記念を残す賞状額など、用途・デザインの豊富に加え、使い易さや耐久性の面でも各方面から高い評価をいただいています。

住まいを飾る個性的な演出のひとつとして、今後ますます多様化・個性化が進むことが予想されるインテリアフレーム。よりカラフルに、よりデザイン性に優れて、あるいはより格調高く。大仙ではこうした新しいニーズに、新しい発想で応えるべく努力を続けています。そして豊かでユニークな新時代のインテリア創造に、大きな可能性を追求していきたいと考えています。

生活空間に
ゆとりと潤いを演出する、
個性豊かなインテリアフレーム。



DAISEN ACTIVITIES

《実績》



▲静岡県 伊豆ベロドーム

確かな技術と、柔軟な発想で、
21世紀のテーマに挑戦し続けます。



▲東京都 二子玉川ライズ ガレリア

- 北海道 横浜植物防疫所札幌支所
カルビーポテト(株)ハウスチューバー
千歳アウトレットモール・レラ(TL/CW)
- 青森県 青森県農林総合研究センター
(株)トヨタフローリテック
- 秋田県 秋田県花き種苗センター
秋田県農林水産技術センター農業試験場
秋田県立大学 アグリビジネス科
秋田県立武道館(TL)
- 岩手県 岩手大学 農学部
岩手医科大学(TL)
岩手県立農業大学校
岩手県生物工学研究センター
- 宮城県 東北大学 農学部
宮城県農業・園芸研究所
宮城大学 食産業学部
宮城県古川農業試験場
イオンモール名取エアリ(TL)
- 山形県 山形県上山明新館高校
山形県新庄神室産業高校
- 福島県 福島県農業総合センター(温室/TL)
いわき市フラワーセンター
明星大学(TL)
- 群馬県 ぐんまフラワーパーク(温室/TL)
高崎染料植物園
安中松井田衛生組合
ぐんま昆虫の森(TL)
- 栃木県 小山遊園地ハーヴェストウォーク
宇都宮大学 農学部
JR宇都宮駅東西自由通路(TL)
ベルモール宇都宮(TL)
佐野厚生病院(TL)
- 茨城県 農業・食品産業技術総合研究機構
茨城県立つくば養護学校(TL)
アステラス製薬つくば研究所(TL)
泉町一丁目南地区再開発ビル(TL)
防災科学技術研究所(CW)
笠松運動公園国体プール(可動式TL)
- 埼玉県 理化学研究所
埼玉県立大学(TL)
本田技研HMオフィス棟アトリウム(TL)
イオン越谷レイクタウンSC(CW)
- 千葉県 ららぽーと柏の葉キャンパス駅前(TL/CW)

- 東京都 千葉大学 医学部医薬研究棟(TL)
千葉市立看護師養成施設(CW)
千葉市少年自然の家(TL/CW)
東京大学 本郷総合研究棟
恩賜上野動物園両性爬虫類館
東京都農業試験場
東京農業大学 世田谷キャンパス
八王子市夕焼け小焼け文化農園
東京ミッドタウン(TL)
新上野区民館(CW)
赤坂TBS再開発(TL)
品川プリンスホテル(TL)
早稲田大学 西早稲田キャンパス(TL)
ナショナルトレーニングセンター(TL)
- 神奈川県 慶応義塾大学 日吉複合施設(TL/CW)
JA平塚ビル(CW)
神奈川県農業技術センター
ラゾーナ川崎(TL)
- 新潟県 イオン新潟南ショッピングモール(CW)
- 山梨県 山梨県農業/酪農試験場
小淵沢フィオーレ
- 長野県 長野県総合農業試験場
角田ナーセリー木祖村農場
長野県花卉試験場
- 岐阜県 岐阜県総合農業試験場
森養魚場
岐阜県警察本部庁舎(CW)
- 静岡県 静岡県農業試験場
伊豆海洋公園
相良町総合センター(TL)
新東名高速道路 清水PA(TL/シェルター)
- 愛知県 名古屋市農業センター
愛知県農業総合試験場
農林省野菜試験場武豊分室
大日養鯉場トヨタ店
豊川市スプレー菊温室組合
泉つまもの温室組合
安城、鶴城丘、新城、渥美、稲沢
各農業高等学校
豊田市緑化センター
名古屋植物防疫所(TL)
尾西市市庁舎(CW)
大曾根西駅前広場シェルター(TL)
岡崎げんき館(可動式TL)
テパオーシャンアリーナ(TL)
- 三重県 三重大学
赤塚植物園
三重県農業大学校
伊賀市立上野東小学校(CW)

- 伊勢中川駅前シェルター
- 富山県 福野施設園芸組合
- 石川県 松任施設園芸組合
- 福井県 県立福井短期大学
福井県園芸試験場
- 京都府 京都大学 農学部
舞鶴市西市民プラザ(TL)
舞鶴市農業公園
西京極運動公園(TL)
- 滋賀県 滋賀県農業試験場
- 大阪府 天王寺動物園
北大阪ネオポリス污水处理場
堺市緑化センター
大阪地家裁 堺支部庁舎(TL)
大阪経済大学 NB館(CW)
イオン泉南SC(TL/CW)
阪急豊中駅 バスシェルター
グリーンピア21 温水プール(TL)
平野区・城東区温水プール(TL)
- 奈良県 針T・R・Sベリーファーム
近鉄学園前ビル[ル・シェル学園前](TL)
- 和歌山県 河南温室組合(低コスト耐候性ハウス)
御坊北温室組合(低コスト耐候性ハウス)
加太菜園(株)
- 兵庫県 神戸大学 農学部
JA淡路島農協第2育苗センター温室
神戸花鳥園
東園田保育園
甲南大学 西宮キャンパス(TL/CW)
阪急西宮SC(TL)
- 岡山県 岡山大学 農学部
岡山県立農業大学校
- 鳥取県 鳥取県農業/林業試験場
- 広島県 世羅菜園(株)
広島県立庄原実業高等学校
広島県立農業大学校
倉橋トマト組合
- 山口県 山口フラワーランド
- 島根県 しまね花の郷
- 香川県 香川県農業試験場
香川県立農業経営学校
香南アグリファーム
- 愛媛県 愛媛県農林水産研究所
愛媛県立今治南高等学校
- 高知県 高知県立牧野植物園
高知県林業技術センター
須崎地区ミョウガハウス団地
イチネン農園
- 徳島県 徳島農林水産総合技術支援センター

▼香川県 高松駅前アーケード



- 福岡県 福岡県農業総合試験場
九州大学 農学部
響灘菜園(株)
アシュラン バードゲージ
西南学院中・高等学校校舎(TL)
北九州市産業技術センター(TL)
JR苅田駅(TL/CW)
- 大分県 蒲江花卉団地
JA大分市 みつば部会
- 熊本県 八代地域農業共同組合
(有)阿蘇健康農園
七城メロン生産組合
- 佐賀県 佐賀県林業試験場
佐賀県立農業大学校
- 長崎県 黒髪カーネーション
長崎ブランニュープランツ
ジャパネットたかた(TL)
- 宮崎県 小林秀峰高等学校・日南振徳高等学校
宮崎大学 農学部
南九州大学 都城キャンパス
青島亜熱帯植物園
- 鹿児島県 鹿児島県農業開発総合センター
鹿児島県立農業大学校
鹿児島大学 農学部
(株)山田水産養鰻場
- 沖縄県 琉球大学 農学部
フルーツランド宮古島
豊見城植物防疫所
名護市森林資源研究センター

解説 TL: トップライト



▲福岡県 響灘菜園(株)

COMPANY PROFILE

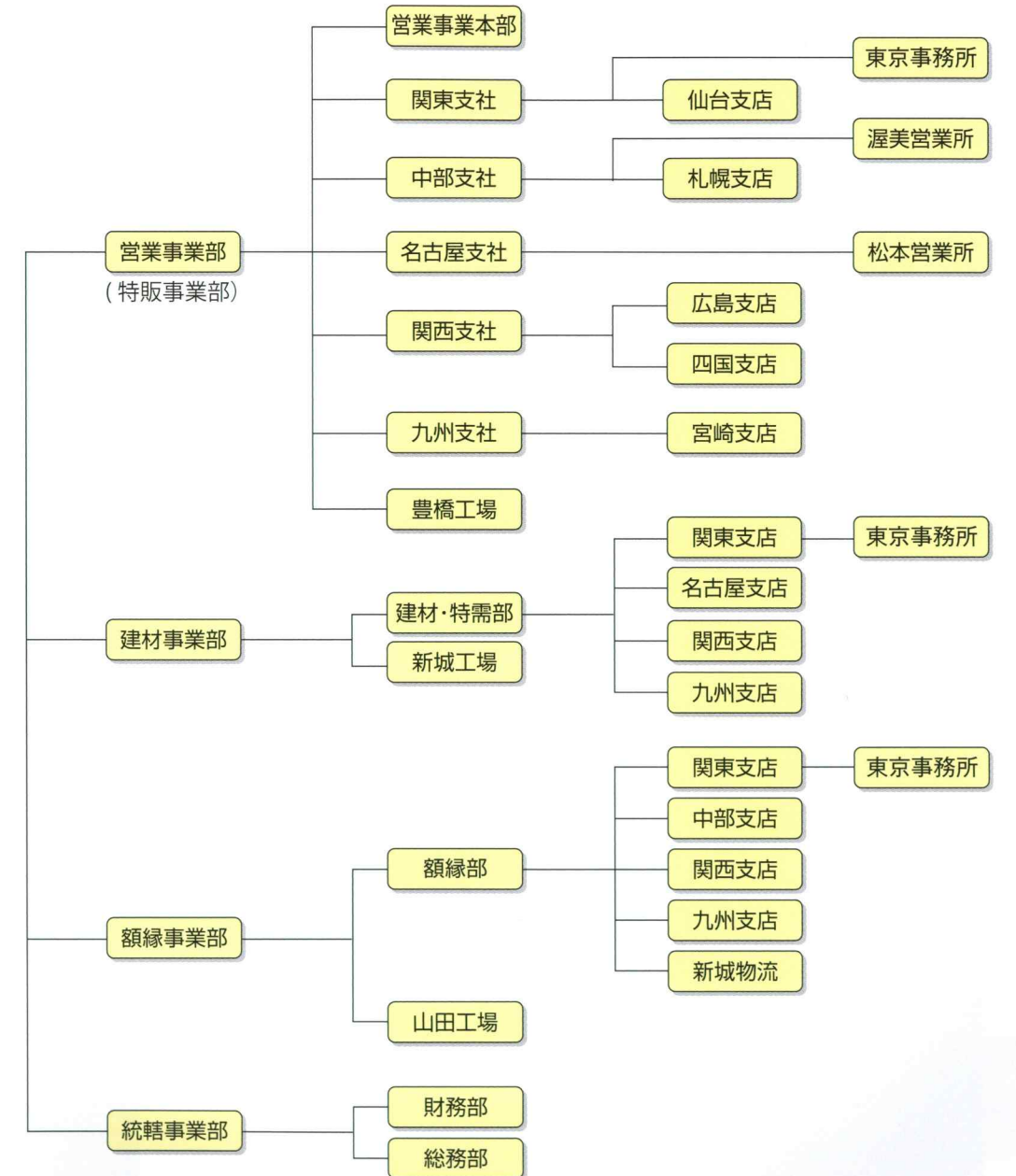
沿革

明治25年	初代鈴木仙吉が豊橋市北島町で創業。	昭和48年	アルミ工業株式会社、株式会社九州大仙を吸収合併。
明治34年	鈴木仙吉、試作の温室を完成。明治末年～大正初期にかけて商品開発進む。これ以降各所で温室が建築される。	昭和50年	建設大臣許可特定建築工事業(特-49)第6011号を受ける。札幌支店、広島営業所(現広島支店)開設。
昭和3年	二代目鈴木俊次にひきつがれる。	昭和53年	建設大臣許可の更新を受ける。(特-52)第6011号。
昭和5年	年間約5千坪の温室を建築。第二次大戦中、温室建築は不要建築として一時中断。	昭和56年	長野営業所(現松本営業所)開設。建設大臣許可の更新を受ける。(特-55)第6011号。
昭和28年	農業・漁業の近代化資金の借入により温室建築は年間1万坪に増加。	昭和59年	新城工場第3期工事完成。建設大臣許可の更新を受ける。(特-58)第6011号。
昭和35年	三代目鈴木米次により株式会社大仙工務店として発足。	昭和60年	新城市緑が丘に研修センター完成。
昭和36年	政府による農業構造改善事業の農業近代化資金貸付制度により5万坪の事業量に達する。	平成2年	建設大臣許可の更新を受ける。(特-1)第6011号。
昭和37年	本社・工場を豊橋市下地町に移転。「大仙会」発足。	平成3年	創業100周年の記念事業を実施。鈴木伸治社長就任。
昭和40年	関西支店(現関西支社)開設。	平成5年	建設大臣許可の更新を受ける。(特-4)第6011号。
昭和41年	関東支店(現関東支社)開設。これを機に株式会社大仙工務店を株式会社大仙に社名変更。	平成7年	山田物流センター完成。合併会社PT.DWF設立。
昭和42年	九州支店(現九州支社)開設。ハワイ訪問。	平成8年	建設大臣許可の更新を受ける。(特-7)第6011号。
昭和43年	豊橋市下地町字柳目に新工場を建設。年間建設能力15万坪。ビニールハウス及び鉄骨アルミ温室の制作を開始。	平成10年	新城工場管理棟完成。
昭和44年	カリフォルニア栽培農園の生産状況視察。昭和44年から昭和47年にかけて欧州を視察。	平成13年	国土交通大臣許可の更新を受ける。(特-12)第6011号。
昭和45年	観賞用アルミ温室(アルミニ)の製造販売を開始。東北営業所(現仙台支店)、四国営業所(現四国支店)、南九州営業所(現宮崎支店)開設。	平成16年	鈴木秀典社長就任。鉄骨製作認定工場更新(TFBR-040188)。
昭和46年	アルミ製額縁の製造販売を開始。全国唯一の総合園芸メーカーとしての体制を確立。	平成22年	会社設立50周年。豊橋工場 ISO9001取得。
昭和47年	東京支店(現東京事務所)、名古屋支社開設。アルミチャック温室を開発。年間50万坪の生産体制を確立。韓国政府の要請により鉄骨アルミ温室を建設。	平成24年	創業120周年。
		平成26年	鈴木健嗣社長就任。

会社概要

社名	株式会社大仙	従業員	310名
資本金	1億円	取引銀行	みずほ銀行豊橋支店 三菱東京UFJ銀行豊橋支店 豊橋信用金庫 本店
創業	明治25年4月	年商	175億円(平成29年5月)
設立	昭和35年4月	各種認証	●建設業(特・般6011) (建築一式 屋根 鋼構造物 建具他) ●鉄骨製作認定工場(TFBR-040188)豊橋工場 ●ISO 認定工場[豊橋工場トプライト用アルミ製骨組の設計・開発・製造 ASR-Q2431](ISO9001) ●一級建築士事務所(愛知(い)3482)
営業種目	●各種温室の製造・建築・施工 (農業用大型温室から家庭用温室まで) ●各種農業資材の製造・販売 ●トプライトの建築施工 ●建材商品の製造・販売・施工 (住宅用ユニットルームから、カーポート等のエクステリア関連商品) ●額縁の製造・販売 ●不動産の賃貸・管理 ●一般建築の施工・販売 ●増改築・外構の施工		

組織図



FACTORY & PRODUCE-SYSTEM

《 生産工程 》

最新設備と徹底した品質管理体制が、
独創の技術に確かな信頼を与えます。

豊橋工場



- 施設園芸・温室
- トップライト
- カーテンウォール

新城工場



- エクステリア
- 増築ユニットルーム

山田工場



- インテリアフレーム



■ H鋼材



■ 設計



■ アルミ材



■ 木材



■ アルミ材



■ 切断



■ アルミ加工



■ 溶接



■ 建具

メッキ仕上げ



■ 豊橋出荷センター



■ 梱包



■ 新城出荷センター



■ 枠組み加工



■ 山田物流センター

サオ加工・塗装

NETWORK

■ ネットワーク

● 東部地区

- 札幌支店 / 〒063-0846 北海道札幌市西区八軒6条西4丁目2-4
TEL (011) 612-6433
- 仙台支店 / 〒981-1106 宮城県仙台市太白区柳生6-1-8
TEL (022) 306-3421
- 関東支社 / 〒343-0002 埼玉県越谷市平方1898-1
TEL (048) 976-1201
- 東京事務所 / 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町2-1 永島ビル4階
TEL (03) 5821-6021

● 中部地区

- 中部支社 / 〒440-8521 愛知県豊橋市下地町字柳目8
TEL (0532) 54-6521
- 渥美営業所 / 〒441-3503 愛知県田原市若見町島居3-1
TEL (0531) 45-3391
- 名古屋支社 / 〒462-0063 愛知県名古屋市北区丸新町40
TEL (052) 902-1661
- 松本営業所 / 〒399-0027 長野県松本市寿南1-34-3
TEL (0263) 88-9155

● 西部地区

- 関西支社 / 〒567-0059 大阪府茨木市清水1-16-35
TEL (072) 643-5201
- 広島支店 / 〒731-0113 広島県広島市安佐南区西原8-24-10
TEL (082) 875-1210
- 四国支店 / 〒761-8057 香川県高松市田村町892
TEL (087) 865-8311

● 九州地区

- 九州支社 / 〒816-0922 福岡県大野城市山田2-1-1
TEL (092) 501-6414
- 宮崎支店 / 〒880-0912 宮崎県宮崎市大字赤江94-1
TEL (0985) 56-9327



▲ 本社



▼ 新城工場



■ 本 社

本 社 〒440-8521 愛知県豊橋市下地町字柳目8
 営 業 本 部 TEL (0532) 54-6521 FAX (0532) 57-1751
 豊 橋 工 場 TEL (0532) 54-6525 FAX (0532) 57-1754
 財 務 部 TEL (0532) 54-6530 FAX (0532) 57-1751
 総 務 部 TEL (0532) 54-6527 FAX (0532) 57-1751

新 城 〒441-1317 愛知県新城市有海字高田1-1
 材 部 TEL (0536) 24-2300 FAX (0536) 24-2302
 額 緑 部 TEL (0536) 24-2015 FAX (0536) 24-2033
 新 城 工 場 TEL (0536) 25-0936 FAX (0536) 24-1041

山 田 工 場 〒441-8103 愛知県豊橋市山田三番町86-91
 TEL (0532) 47-8881 FAX (0532) 44-1231

ダイセン

株式会社 大仙

本社/〒440-8521 愛知県豊橋市下地町字柳目8
TEL(0532)54-6527(代) FAX(0532)57-1751